

ダブルスの佐渡

多数入賞

県中学生選手権大会



1月号 No.4



優勝まであと一歩

第10回新潟県中学生バドミントン選手権大会兼第10回全日本中学生バドミントン選手権大会予選会が、12月19日、20日新潟市鳥屋野体育館をメイン会場にして開催されました。

残念ながら優勝はありませんでしたが、男子ダブルスで佐渡の3チームが入賞しました。準決勝では、金井中の本間雄大(2年)石塚貴海(2年)組と高千中の浜口玄太(2年)前田拓人(1年)組の佐渡勢同士の対戦になりましたが、スピードと高さで上回る金井中ペアが終始リードし2-0で石塚本間組が勝利し決勝に進出しました。もう一方の準決勝は金井中の菊池武彦(2年)関根広大(2年)組と第1シードの中沢・市丸組(東新潟中)の対戦になりました。第1ゲームはシーソーゲームになりサウスポアの関根君と菊池君の攻撃が上手く噛み合い1ゲームを先取しました。2ゲームは東新潟ペアが取り、ファイナルゲームに入りました。コンビネーションが冴えてドライブで押し込んで前衛が決める場面が度々見られ2人のガッツポーズが出ていました。最後は押し切られ1-2の惜敗でしたが、胸を張れる3位でした。決勝戦は、金井中の石塚本間組対金井中の菊池関

根組を破って決勝進出してきた東新潟ペアの対戦になりました。第1ゲームの序盤は互角の戦いでしたが、相手チームの勢いに押され金井中ペアの元気が無くなり防戦に終始し徐々に点差が開き1ゲームを落としてしまいました。挽回を期した第2ゲームでしたが、流れは変わらず相手ペアの元気がつらつとしたプレーに軍配が上がりました。しかしながら2位3位4位を佐渡勢が占めたので来年の県大会での活躍が期待されます。

女子ダブルスでは、佐渡オーイアタックで佐藤由梨(畑野中2年)渡辺奏子(金井中2年)組が第4シードを破り3位入賞を果しました。入賞した4ダブルス8人は、新潟県代表として2月の埼玉オープンに出場します。またダブルス以外では、磯野結花さん(南中1年)が5位に入賞したほか他の出場選手もほとんどが3回戦まで勝ち残り実力の向上が見られました。

同日に三条市で開催された高校の県大会では、佐渡高校男子が佐渡の男子で初めて団体3位に入賞、またダブルスの後藤・坂野組も3位入賞するなど高校でも活躍が見られました。中学校共に夏が楽しみですね。

